

調布市環境基本計画策定に向けた 環境に関する市民意識調査 報告書【概要版】

資料 2（参考 1）

I 調査概要

【調査目的】

調布市は、平成 28 年 3 月に環境行政におけるマスタープランである「調布市環境基本計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 7 年度）を策定しました。

その間、令和 3 年 3 月の改定も経て、環境の保全と創造に向けた様々な施策を推進しているところです。
令和 7 年度は、現行計画の策定から 10 年目の最終年度であり、計画の評価や市民意向を把握する必要があることから、次期計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的に、意識調査を実施しました。

【調査概要】

調査対象	市内に在住する満 16 歳以上の 3,000 名を住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和 7（2025）年 4 月 30 日～5 月 21 日
調査方法	配布方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答
配布数	3,000 票
回収数	1,323 票（郵送：907 票、WEB：416 票）
回収率	44.1% ※ 5 月 8 日督促実施
参考：前回調査（令和元年） 配布数／回答数（率）	配布数：3,000 票 回答数：1,321 票（44.0%）

調布市環境基本計画策定に向けた意識調査

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
市は、環境に関する施策を総合的・計画的に推進するため、「未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布－私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし－」を将来像とする「調布市環境基本計画」を策定しています。
現在の計画が前回の改定から 5 年を経過し、令和 7 年度に計画期間満了を迎えることから、市は、新しい「調布市環境基本計画」の策定を予定しています。
この調査は、環境に関する皆様の意識や取組の状況を把握し、計画策定や今後の取組に活かすことを目的として行うものです。調査対象につきましては、調布市に住民登録をしている満 16 歳以上の方から 3,000 人を無作為に抽出させていただきました。
ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいようお願い申し上げます。

調布市長 長 友 貴 樹

■ご回答にあたってのお願い

- 本調査は無記名です。回答結果はこの調査の集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。
- 調査は個人を対象にしています。お送りした封筒に書かれている宛名の方ご本人がご記入ください。
- 特にことわり書きがない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は問 1 から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○を付けてお答えください。なお、質問により、1 つだけ選んでいただく場合と、複数選ぶことができる場合がありますので、各質問に従ってお答えください。
- 質問の回答で、「その他」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。

ご回答の方法（ご都合に合わせて①または②をお選びください）

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函（切手貼付不要）してください。

② スマートフォン・WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答ください。

こちらからも回答できます

https://forms.gle/zz2zksQWioCdKVHW8

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。

令和 7 年 5 月 21 日（水）までのご回答にご協力をお願い申し上げます。

調査についてのお問い合わせ

調布市 環境部 環境政策課

電 話：042-481-7086 E-mail：kanky@city.chofu.lg.jp

II 調査結果（回答者自身のことについて）

回答者属性について

○性別（問 1）

性別	割合
男性	39.9%
女性	57.4%
無回答	1.3%
回答しない	1.4%

○年齢（問 2／年代を回答）

年齢	割合
70歳以上	28.3%
60～69歳	15.6%
50～59歳	19.2%
40～49歳	16.5%
30～39歳	10.3%
20～29歳	6.6%
16～19歳	2.4%
無回答	1.1%

○居住地区（問 3／住んでいる町名を回答）

地域	アンケート調査		地域別人口※令和 7 年 1 月 1 日	
	回答数（人）	構成比	人口（人）	構成比
西部地域	213	16.1%	36,723	15.3%
北部地域	221	16.7%	43,730	18.3%
南部地域	546	41.3%	98,765	41.3%
東部地域	328	24.8%	60,130	25.1%
無回答	15	1.1%	—	—
計	1,323	100.0%	239,348	100.0%

III 調査結果（環境に関する考えについて）

環境に関する認識について

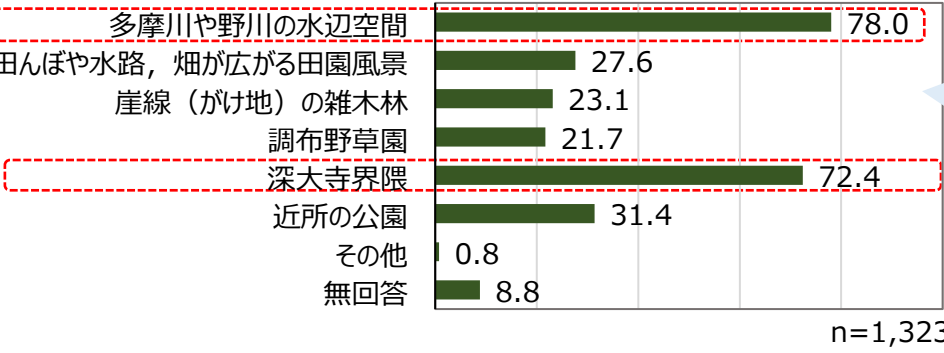
○環境問題の中で、危機的な状態にあると感じていること（問 6／複数回答 3 つまで）

環境問題	割合
緑の減少（木々や田畑が減っていること）	32.7
地球温暖化の進行（地球が暑くなり、大雨が増えるなど気候が変わりつつあること）	77.0
生物の種類の減少（生き物の種類が絶滅などにより減っていること）	15.6
湧き水の減少（地下水の枯渇などにより湧き水が減少しつつあること）	6.4
大気汚染（空気が汚れる物質が発生していること）	28.9
水質汚濁（水が汚れる物質が川や海に流れ込んでしまうこと）	20.6
食べ残しや売れ残りなどの食品ロス（本来食べられるものが捨てられてしまうこと）	40.5
ごみの不法投棄などの不適切な処理（ポイ捨てによりまちが汚れたり、海洋汚染につながる）	28.0
使い捨てや過剰購入（無駄遣いや大量消費により地球の資源を消費し続けること）	24.3
その他	3.5
危機的に感じることはない	0.8
無回答	1.1

- ・回答者の 7 割超が「地球温暖化の進行」を危機的な状態にあると感じている。
- ・次いで「食品ロス」や「緑の減少」を選択している回答者が多い
- ・日本や世界の温暖化に目を向けるとともに、気候変動に応じた対策の強化が必要

○調布の特色であり将来に残していきたいと思う場所（問7／複数回答 3つまで）

※回答者比 0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

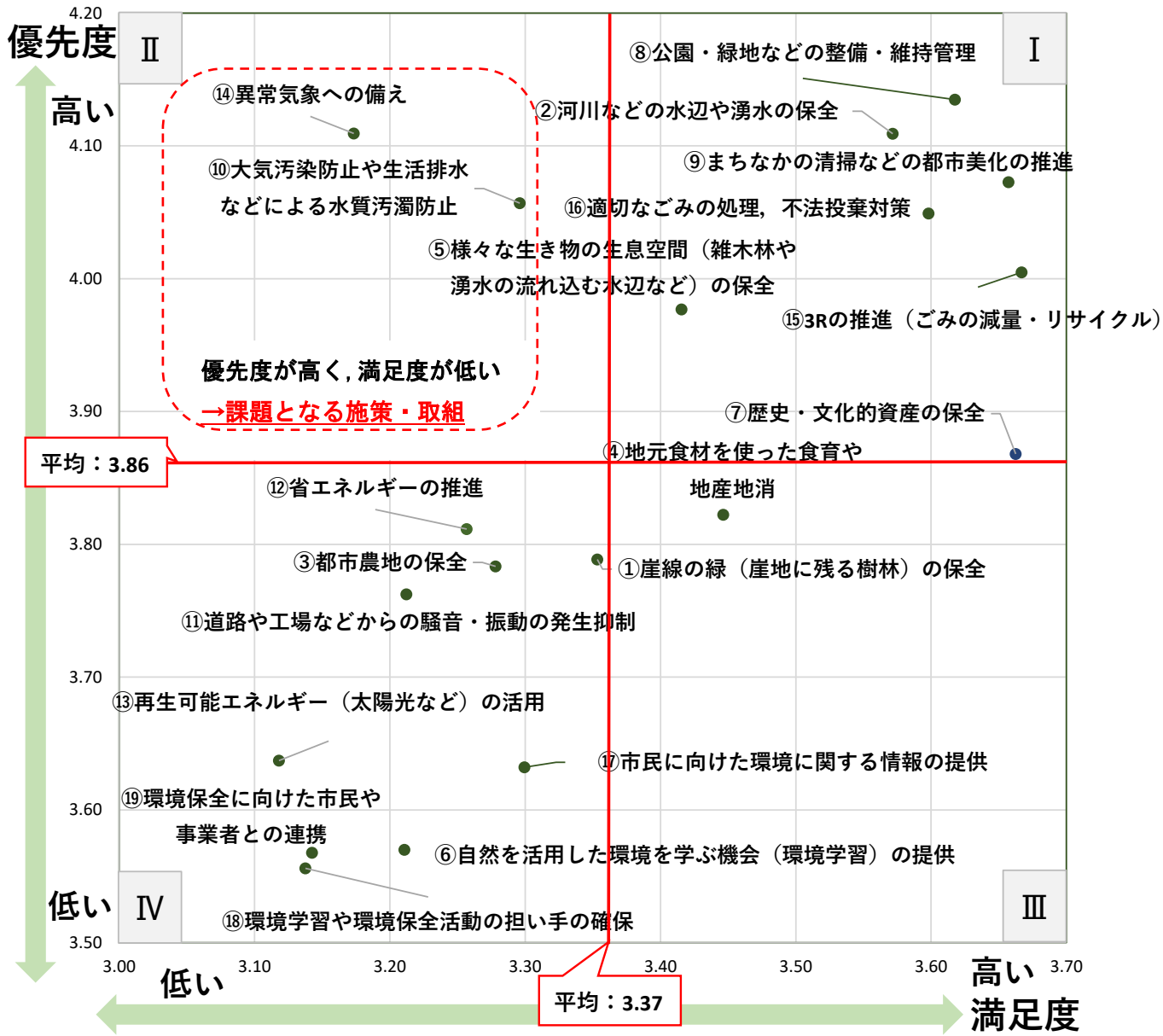


・「多摩川や野川の水辺空間」と「深大寺界限」で回答者の7割超が回答
・身近な水辺空間や、地域の歴史・文化に親しむことができる取組の強化が必要

調布市の環境に関する施策・取組について

○調布市の環境に関する施策・取組（問10／各項目単数回答）

調布市の環境に関する施策・取組の優先度・満足度を点数化し、分析した結果は以下の通り。※点数化については、アンケート報告書（P38）の本文参照



・市の課題であることが考えられる施策・取組は「大気汚染防止や生活排水などによる水質汚濁防止」と「異常気象への備え」
・引き続き、良好な生活環境の実現を図るとともに、災害にも強く安心して暮らせるための取組が必要

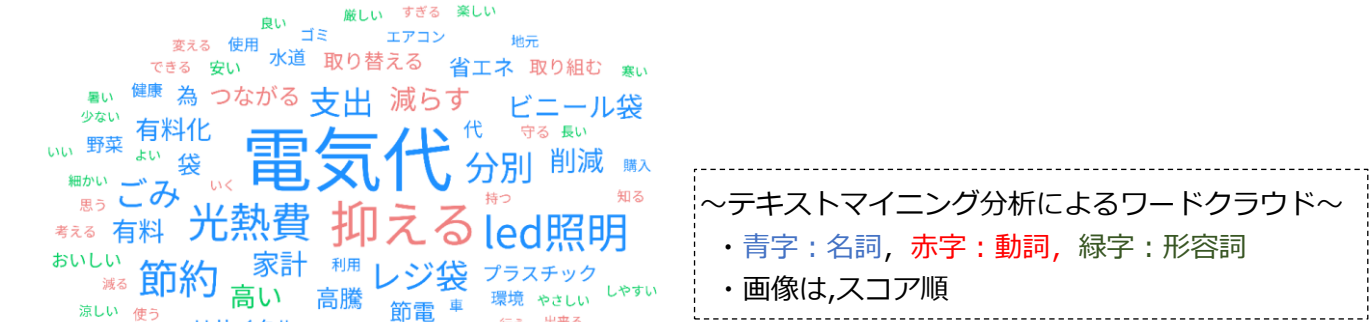
環境に関する取組について

○環境について、普段取り組んでいること（問8／設問20項目で、「積極的に取り組んでいる」「ときどき行っている」「今後行いたい」「行方予定はない」の中から回答）

- ・回答者の9割以上が環境に関する取組として「ごみの分別」「エコバッグの持参」「エアコンの適正温度設定」を行っている。
- ・一方で、「環境学習に参加し、環境への理解を深める」については「行っていない」と回答した人も多く、今後も環境学習に関するプログラムの拡充や、取組の強化が必要

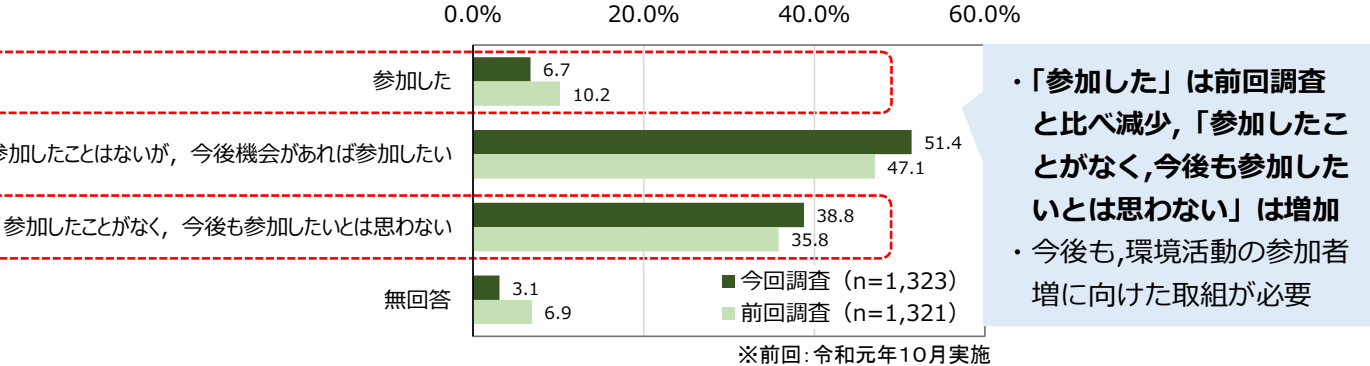
○環境に関する取組を行うきっかけ（問9／記述回答・3つまで選択）

- ・電気代の高騰など、値上げをきっかけに、省エネや光熱費の削減に取り組むケースが多い
- ・環境のためやもったいないという意識から取り組むケースもあり、今後もこのような環境に関する意識向上のための取組が必要



環境活動について

○1年間の環境活動の参加有無（問13／単数回答）



・「参加した」は前回調査と比べ減少、「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」は増加
・今後も、環境活動の参加者増に向けた取組が必要

○環境活動に参加しない理由（問17／複数回答）※「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人限定（n=513）

段：回答数 段：%	合計	問17 環境活動に参加しない理由						
		活動に関する情報がないから	参加する時間がないから	興味のあな活動がないから	環境保全につながっていると感じないから	一人では参加しにくいから	その他	無回答
全体	513 100.0	97 18.9	285 55.6	97 18.9	33 6.4	139 27.1	83 16.2	1 0.2
手 令	16～19歳	10 100.0	4 40.0	8 80.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	20～29歳	27 100.0	7 25.9	22 81.5	9 33.3	1 3.7	10 37.0	2 7.4
	30～39歳	62 100.0	13 21.0	45 72.6	19 30.6	3 4.8	19 30.6	2 3.2
	40～49歳	80 100.0	13 16.3	54 67.5	12 15.0	6 7.5	22 27.5	3 3.8
	50～59歳	85 100.0	19 22.4	56 65.9	21 24.7	9 10.6	28 32.9	6 7.1
	60～69歳	76 100.0	9 11.8	41 53.9	12 15.8	5 6.6	16 21.1	10 13.2
	70歳以上	170 100.0	30 17.6	58 34.1	22 12.9	8 4.7	40 23.5	60 35.3

・「参加する時間がないから」は「16～19歳」と「20～29歳」で8割超が回答
・時間がない中でも参加できるようなプログラムづくりや、身近な場所で参加できる仕組みが必要